

学会だより

学会活動報告

1 58年度総会、講演会等

昨年度の設立総会に続く第2回のお茶の水地理学会総会は、4月30日(土)午後2時半から、大学一般教育棟2号館102教室で52名参加のもとに開かれた。恒例により議長選出後、総務の式教官の挨拶に続き、57年度事業、及び学会役員の一部異動の報告があり、次いで協議事項に入り、新入会員名簿紹介、57年度決算報告及び58年度事業計画、同予算案についての説明があり、いずれも承認された。

次いで午後3時から講演会が行なわれ、15回生二瓶直子氏(東大医科研)「医学地理学からみた日本住血吸虫症」、本学教官三上岳彦助教授「日本の小氷期と江戸時代の飢饉」の2つの講演が行なわれ、午後5時過ぎ散会した。その後午後5時半から茗荷谷駅近くのトレッカドミ小石川店で懇親会が開かれ、卒業生、教官、大学院生ら32名が参加して盛会であった。

2 談話会

予定どおり次の3回が行なわれた。

- (1) 1983年7月2日(土)(第50回)「関東地方における神社信仰の地域性と重層性」 小寺和代(26回生)
- (2) 1983年11月5日(土)(第51回)「緑地に関する総合的分析」 中島直子(25回生)
- (3) 1984年1月21日(土)(第52回)「中・高校における教育の現場から問題点を指摘する」話題提供者:石川良美(17回生)、矢口文子(23回生)、原高則(越谷市教育委員会)

なお、第52回は3人の話題提供者による問題提起ののち、参会者も交え活発な意見の交換が行なわれた。

3 見学会

1983年11月27日(日)、神奈川県三浦半島、参加:11名(案内者浅海重夫)。テーマ:三浦半島南部の自然と人文。

やゝ時期外れともいえる初冬の巡検となったが、幸い無風快晴の絶好の日和に恵まれ、城ヶ島をスタートして三浦市内経由、諸磯隆起海岸跡に至る全行程12kmを時間をかけて見学、当日のテーマである三浦半島の南部の自然と人文についての知識を深めることができた。とくに、漣痕やスランプの大露頭や、海岸の隆起を示す諸磯内陸部の旧海食崖では案内の浅海教官の懇切な解説があり、一同の理解を深めた。

4 ニュースレター発行

No. 3 5月25日(7ページ)

No. 4 11月10日(11ページ)

5 その他

昭和59年度総会、講演会、懇親会は、5月19日(土)に予定されている。

役員(昭和58年度)

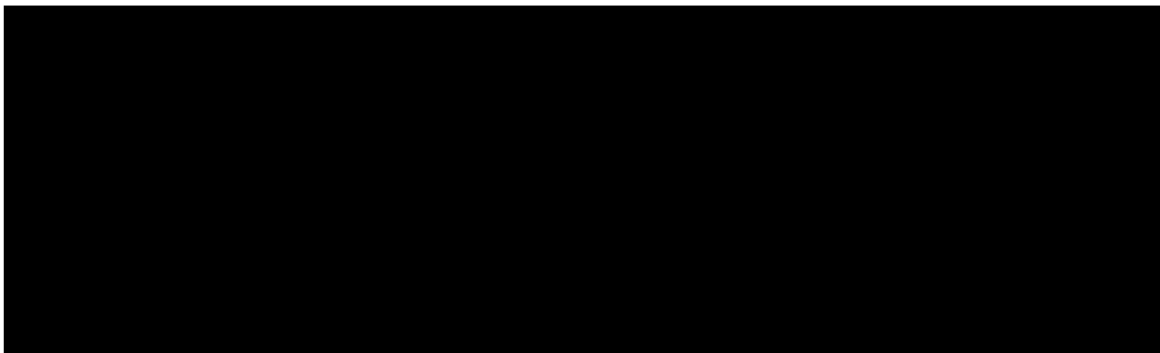
総務 式 正英

企画 浅海重夫、井内 昇、瀬戸玲子、岡田久美子、岡崎セツ子、滝沢由美子、鈴木陽子

編集 式 正英、三上岳彦、栗原尚子、金子晶子、村松晶子、太田晴子、中島直子、他に学生6人  
会計 内藤博夫、見山久子、式 好子、厚井和子、村松晶子

庶務 井内 昇、栗原尚子、渡辺真紀子、貝山久子、村松晶子、青島朋子、

会 員 消 息



## 地理学教室動向

昭和57年度から地理学科カリキュラムがかなり大幅に改訂されたため、58年度も過渡期として新・旧両カリキュラムが併存していた。各教官の科目担当はおもむね従前どおりであるが、従来式教官が担当してきた地図学演習は昭和58年度から三上、栗原両教官が隔年交代で担当することになった。非常勤講師として講義を担当したのは、朝倉隆太郎（筑波大）、新井正（立正大）、石井素介（明治大）、大友篤（宇都宮大）、斎藤毅（東京学芸大）、斎藤光格（神戸大）、諏訪彰（元気象庁）、高橋伸夫（筑波大）、正井泰夫（筑波大）、松田盤余（都立大）、山田安彦（千葉大）の各氏で学部、及び大学院で学生の指導に当られた。

58年3月に退職した武田むつみ助手の後任として4月から21回生の村松晶子氏が着任したが、第2子誕生のため9月末で退職、後任に27回生の渡辺真紀子氏が新助手として着任した。渡辺氏は本学大学院修士過程終了後、昭和57年本学人間文化研究科（博士過程）へ進学、昭和

58年9月、助手採用のため中途退学した。修士課程在学中、自然講座事務補佐員として勤務の経験がある。58年度の教室関係者の海外研修は、10月に式教授と内藤助教授が国際会議出席のためそれぞれアフリカ・ベルギー、及びフランスへ旅行した。また、人間文化研究科在籍のままカナダ政府留学生としてブリティッシュ・コロンビア大に留学中の栗原武美子氏は59年夏まで留学延長の予定である。

57年以降導入がはじまったパーソナルコンピュータシステムは、58年度に新たにRGB対応のカラーモニター及びビデオカメラが加わり、さらにランドサットからの画像データを処理できるよう、新たに8インチ標準フロッピーディスク装置とNEC PC-9801Eが加わり、教官の研究に利用される他に、学生が卒論修論研究に積極的に利用する例がふえている。

なお、1984年日本地理学会春季学術大会が4月5日、6日の両日お茶の水女子大学を会場として開催された。